

ブラジル国 医療系廃棄物などの有害廃棄物の 焼却処分に協力

国際協力機構（JICA）は3月13日、「2014年度第2回中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、大阪府枚方市の株式会社明星金属製作所が提案する「医療系廃棄物を中心とした有害廃棄物の焼却処分に係る案件化調査」を採択しました。

人口の8割以上が都市部に在住するブラジルでは、医療系廃棄物を中心とした有害廃棄物を含むごみは、処理施設の不足や技術の低さから、未処理のまま埋め立てられているため、土壌・水質汚染及びごみの減量化が喫緊の課題となっています。

明星金属製作所の感染性医療廃棄物専用炉 MDH-BB シリーズは、ダイオキシンなどの大気汚染の発生がなく、大型炉に比べて操作が簡単であり、設置・撤去が容易である上、維持管理費用が安く、価格面でも廉価である特徴があります。

同社はブラジルでの有害廃棄物を無害化及びごみの減容化など課題解決を目指し、医療系廃棄物を中心とした有害廃棄物の焼却処分に係る調査を実施します。



感染性医療廃棄物処理専用炉 MDH シリーズ

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度第2回目は昨年11月に公示を行いました。129件の応募のうち25件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 関西国際センター（JICA 関西）

TEL. (078) 261-0341（代表） FAX. (078) 261-0342

JICA 関西 業務第一課 担当 李（イ）e-mail: Lee. Sanggyoon@jica. go. jp